

金栗四三の生涯漫画に

熊本日日新聞連載を単行本化

熊本日日新聞社は、朝刊連載漫画「KANAKURI」を日本初の五輪選手「金栗四三」を単行本として出版し

た。写真。

金栗は熊本県和水町出身で、日本初のオリンピック選手として1912（明治45）年のストックホルム五輪マラソン競技に出場。NHK大河ドラマ「いだてん〜東京オリムピック噺（ばなし）〜」の主人公の一人となっている。

漫画は、マラソン競技の最

中に意識を失い、行方知れずとなった逸話で知られる金栗の生涯を題材にし、2018年4月から12月まで、熊本日日新聞に連載された。

野山を駆け回った熊本での少年時代や、東京高等師範学校での「柔道の父」嘉納治五郎との出会い、スポーツ文化を日本に根付かせようと奔走したエピソードをもとに、架空のヒロインやライバルも登場。恋あり、競争ありのフィクションに仕上げた。

作画の岩田紘典さんは崇城

大（熊本
市）芸術学
部マンガ表
現コース非
常勤講師。

A5判上製

本、248

ページ。162

0円。



原作 長谷川孝道
「走れ! 二十五キロ! マラソンの父 金栗四三伝」復刻版
構成 橋本博
マンガ 岩田紘典・KSプロ
企画 NPOクママン（熊本マンガミュージアムプロジェクト）

熊本日日新聞社